

丸萬家具店

磐女文化祭
に平城模型



各方面から続々援助

過説諸橋会長、猪狩副会長、鯨岡事務局長らは三和村の山林主と云われる永山繁義氏（七四）を訪れず平城建設の話をしたところ、全く時機を得た企画であると賛成してくれ、病軀をおして吾妻六郎氏（七四）一旧姓田子、一橋大卒業一宅に同道、この二人で平城建設に要する一切の用材を自ら山林から採擇して寄付することになり訪れた諸橋氏ら一行をホロリとさせた感激の場面を見せたが、城内に設備するグラナタリム設備（天体

鈴木光四郎

警城平城は、鯉野城とも竜ヶ城ともいわれた。西表丘の門を六間門と称して落り櫓であり、これが正門であった。高麗橋を通って黒門（現在のやま・商店附近）を経て追手門（現在の鯉飯料理店裏）にいたる。追手門は落り櫓で高さ一丈七尺、右手の高い石垣を左火台台（砲台）と称した。

追手門を経て中門（現在の金古政通氏附近）の内部が本丸であり市街地から見える高台である。本丸には、高さ四丈三尺の三階櫓、高さ三丈四尺の八つ櫓櫓があった。この三階櫓が城の中心をなしていた平城再建の計画は、この三階櫓を考慮されているのである。「磐城名物三階櫓高お濤に浮いて立つ」と謳われたものであり、小島や谷川瀬方面から見た平城の姿は見事であったと老人が云い伝えている。物見が岡の高さは数丈あり、岡の下を廻るのは城坂道であり、東裏門を入ると中仕切門にいたより左方に与櫓があり、それより埋門を経て弥市櫓形、塗師、隅図の四櫓があった。中仕切門、埋門の中途より北に入ると二の丸、三の丸

廻り、その間に田町、才樋、不明（松月堂附近）、鶯の四門があった。黒門の東端に武者落し（現在安達魚店附近）があったが、當時は石垣底深く見おろすことが出来なかつたといふ。

黒門より左に折れて北に入ると、米倉庫イロハ四十八扉と称し城下二万三千石の規模と称し城下一万三千石の規模と名残といえるのである。

観測施設)の一切は平市出身の仙台市丸光デパート社長佐々木光男氏(六〇)が寄付してくれたことになった。この施設は青少年のための星空の状況が一目瞭然たしめる教育的な施設でその経費は恐らく五、六百万円―一千万円くらいかかるといわれている。

また平市出身の在京日本飛行機社長藤崎昭正氏（茶道道）は城内に設けられる茶道用具一切を寄付してくれることになっており、このほか平市白土和田せき（八三）さんは「葬式を盛大にもやるのは人間の見栄でくらぬことだ、その費用の二十万由を築城に役立てて欲しい」と女ながらも卒先して築城に熱意を見せ猪狩四郎副会長を感激させ、また

さんもお金と五万円を寄付してくるなど女性方面にも意外に關心がたかまっている。また夏井の青木半次郎氏長男、敏明さん、久保木哲夫さん、鈴木秀光さんら青年は米一俵づつを寄付する。城山の堀井

新太郎氏は給料の一月月寄付
でお城が建つならと月給一カ
月分の五万八千円を出すなど
各方面から続々として好意を
寄せられている。このほか主
は寄付者三の連）。
は寄付者三の連）。

▽二十万円	小川	若松晴司
▽百万万円	四倉	鈴木常松
▽百万万円	富岡	山田次郎
▽百万万円	久之浜	木田茂平
▽十万万円	小川	柳内一良
▽十万万円	東京	村上有快
▽三十万円	東京	佐藤要一
▽十万万円	仙台	鈴木義彦
▽十五万円		原野喜一

(敬称略)

平初三丁目
大谷石
井上

議 長	川前村長	永山忠二	議 長	倉町長	鈴木常松	議 長	勿来市長	赤津庄兵衛	議 長	磐城市長	三代義勝	議 長	常磐市長	磯野清治	議 長	内郷市長	沼田一夫	議 長	平市長	大和田弥一
議 長	田人村長	小宅光秋	議 長	遠野町長	小沢要助	議 長	好間村長	鈴木栄一	議 長	小川町長	若松晴司	議 長	三和村長	田子辰雄	議 長	志賀季三郎	議 長	須田一男	議 長	渡辺政義
議 長	蛭田栄太郎		議 長	阿部卓爾		議 長	坂本太平治		議 長	新妻常吉		議 長	野崎貞行		議 長	滝田義勝		議 長	鈴木栄一	
議 長	中里豊須美		議 長	大滝誠志		議 長	三邊寛		議 長	鈴木常松		議 長	三和村長	田子辰雄	議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	小沢要助		議 長	鈴木栄一		議 長	若松晴司		議 長	赤津庄兵衛		議 長	磯野清治		議 長	沼田一夫		議 長	鈴木栄一	
議 長	田子辰雄		議 長	阿部卓爾		議 長	野崎貞行		議 長	新妻常吉		議 長	滝田義勝		議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	蛭田栄太郎		議 長	中里豊須美		議 長	大滝誠志		議 長	三邊寛		議 長	三和村長	田子辰雄	議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	小沢要助		議 長	鈴木栄一		議 長	若松晴司		議 長	赤津庄兵衛		議 長	磯野清治		議 長	沼田一夫		議 長	鈴木栄一	
議 長	田子辰雄		議 長	阿部卓爾		議 長	野崎貞行		議 長	新妻常吉		議 長	滝田義勝		議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	蛭田栄太郎		議 長	中里豊須美		議 長	大滝誠志		議 長	三邊寛		議 長	三和村長	田子辰雄	議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	小沢要助		議 長	鈴木栄一		議 長	若松晴司		議 長	赤津庄兵衛		議 長	磯野清治		議 長	沼田一夫		議 長	鈴木栄一	
議 長	田子辰雄		議 長	阿部卓爾		議 長	野崎貞行		議 長	新妻常吉		議 長	滝田義勝		議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	蛭田栄太郎		議 長	中里豊須美		議 長	大滝誠志		議 長	三邊寛		議 長	三和村長	田子辰雄	議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	小沢要助		議 長	鈴木栄一		議 長	若松晴司		議 長	赤津庄兵衛		議 長	磯野清治		議 長	沼田一夫		議 長	鈴木栄一	
議 長	田子辰雄		議 長	阿部卓爾		議 長	野崎貞行		議 長	新妻常吉		議 長	滝田義勝		議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	蛭田栄太郎		議 長	中里豊須美		議 長	大滝誠志		議 長	三邊寛		議 長	三和村長	田子辰雄	議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	小沢要助		議 長	鈴木栄一		議 長	若松晴司		議 長	赤津庄兵衛		議 長	磯野清治		議 長	沼田一夫		議 長	鈴木栄一	
議 長	田子辰雄		議 長	阿部卓爾		議 長	野崎貞行		議 長	新妻常吉		議 長	滝田義勝		議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	蛭田栄太郎		議 長	中里豊須美		議 長	大滝誠志		議 長	三邊寛		議 長	三和村長	田子辰雄	議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	小沢要助		議 長	鈴木栄一		議 長	若松晴司		議 長	赤津庄兵衛		議 長	磯野清治		議 長	沼田一夫		議 長	鈴木栄一	
議 長	田子辰雄		議 長	阿部卓爾		議 長	野崎貞行		議 長	新妻常吉		議 長	滝田義勝		議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	蛭田栄太郎		議 長	中里豊須美		議 長	大滝誠志		議 長	三邊寛		議 長	三和村長	田子辰雄	議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	小沢要助		議 長	鈴木栄一		議 長	若松晴司		議 長	赤津庄兵衛		議 長	磯野清治		議 長	沼田一夫		議 長	鈴木栄一	
議 長	田子辰雄		議 長	阿部卓爾		議 長	野崎貞行		議 長	新妻常吉		議 長	滝田義勝		議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	蛭田栄太郎		議 長	中里豊須美		議 長	大滝誠志		議 長	三邊寛		議 長	三和村長	田子辰雄	議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	小沢要助		議 長	鈴木栄一		議 長	若松晴司		議 長	赤津庄兵衛		議 長	磯野清治		議 長	沼田一夫		議 長	鈴木栄一	
議 長	田子辰雄		議 長	阿部卓爾		議 長	野崎貞行		議 長	新妻常吉		議 長	滝田義勝		議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	蛭田栄太郎		議 長	中里豊須美		議 長	大滝誠志		議 長	三邊寛		議 長	三和村長	田子辰雄	議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	小沢要助		議 長	鈴木栄一		議 長	若松晴司		議 長	赤津庄兵衛		議 長	磯野清治		議 長	沼田一夫		議 長	鈴木栄一	
議 長	田子辰雄		議 長	阿部卓爾		議 長	野崎貞行		議 長	新妻常吉		議 長	滝田義勝		議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	蛭田栄太郎		議 長	中里豊須美		議 長	大滝誠志		議 長	三邊寛		議 長	三和村長	田子辰雄	議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	小沢要助		議 長	鈴木栄一		議 長	若松晴司		議 長	赤津庄兵衛		議 長	磯野清治		議 長	沼田一夫		議 長	鈴木栄一	
議 長	田子辰雄		議 長	阿部卓爾		議 長	野崎貞行		議 長	新妻常吉		議 長	滝田義勝		議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	蛭田栄太郎		議 長	中里豊須美		議 長	大滝誠志		議 長	三邊寛		議 長	三和村長	田子辰雄	議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	小沢要助		議 長	鈴木栄一		議 長	若松晴司		議 長	赤津庄兵衛		議 長	磯野清治		議 長	沼田一夫		議 長	鈴木栄一	
議 長	田子辰雄		議 長	阿部卓爾		議 長	野崎貞行		議 長	新妻常吉		議 長	滝田義勝		議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	蛭田栄太郎		議 長	中里豊須美		議 長	大滝誠志		議 長	三邊寛		議 長	三和村長	田子辰雄	議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	小沢要助		議 長	鈴木栄一		議 長	若松晴司		議 長	赤津庄兵衛		議 長	磯野清治		議 長	沼田一夫		議 長	鈴木栄一	
議 長	田子辰雄		議 長	阿部卓爾		議 長	野崎貞行		議 長	新妻常吉		議 長	滝田義勝		議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	蛭田栄太郎		議 長	中里豊須美		議 長	大滝誠志		議 長	三邊寛		議 長	三和村長	田子辰雄	議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	小沢要助		議 長	鈴木栄一		議 長	若松晴司		議 長	赤津庄兵衛		議 長	磯野清治		議 長	沼田一夫		議 長	鈴木栄一	
議 長	田子辰雄		議 長	阿部卓爾		議 長	野崎貞行		議 長	新妻常吉		議 長	滝田義勝		議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	蛭田栄太郎		議 長	中里豊須美		議 長	大滝誠志		議 長	三邊寛		議 長	三和村長	田子辰雄	議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	小沢要助		議 長	鈴木栄一		議 長	若松晴司		議 長	赤津庄兵衛		議 長	磯野清治		議 長	沼田一夫		議 長	鈴木栄一	
議 長	田子辰雄		議 長	阿部卓爾		議 長	野崎貞行		議 長	新妻常吉		議 長	滝田義勝		議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	蛭田栄太郎		議 長	中里豊須美		議 長	大滝誠志		議 長	三邊寛		議 長	三和村長	田子辰雄	議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	小沢要助		議 長	鈴木栄一		議 長	若松晴司		議 長	赤津庄兵衛		議 長	磯野清治		議 長	沼田一夫		議 長	鈴木栄一	
議 長	田子辰雄		議 長	阿部卓爾		議 長	野崎貞行		議 長	新妻常吉		議 長	滝田義勝		議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	蛭田栄太郎		議 長	中里豊須美		議 長	大滝誠志		議 長	三邊寛		議 長	三和村長	田子辰雄	議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	小沢要助		議 長	鈴木栄一		議 長	若松晴司		議 長	赤津庄兵衛		議 長	磯野清治		議 長	沼田一夫		議 長	鈴木栄一	
議 長	田子辰雄		議 長	阿部卓爾		議 長	野崎貞行		議 長	新妻常吉		議 長	滝田義勝		議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	蛭田栄太郎		議 長	中里豊須美		議 長	大滝誠志		議 長	三邊寛		議 長	三和村長	田子辰雄	議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	小沢要助		議 長	鈴木栄一		議 長	若松晴司		議 長	赤津庄兵衛		議 長	磯野清治		議 長	沼田一夫		議 長	鈴木栄一	
議 長	田子辰雄		議 長	阿部卓爾		議 長	野崎貞行		議 長	新妻常吉		議 長	滝田義勝		議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	蛭田栄太郎		議 長	中里豊須美		議 長	大滝誠志		議 長	三邊寛		議 長	三和村長	田子辰雄	議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	小沢要助		議 長	鈴木栄一		議 長	若松晴司		議 長	赤津庄兵衛		議 長	磯野清治		議 長	沼田一夫		議 長	鈴木栄一	
議 長	田子辰雄		議 長	阿部卓爾		議 長	野崎貞行		議 長	新妻常吉		議 長	滝田義勝		議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	蛭田栄太郎		議 長	中里豊須美		議 長	大滝誠志		議 長	三邊寛		議 長	三和村長	田子辰雄	議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	小沢要助		議 長	鈴木栄一		議 長	若松晴司		議 長	赤津庄兵衛		議 長	磯野清治		議 長	沼田一夫		議 長	鈴木栄一	
議 長	田子辰雄		議 長	阿部卓爾		議 長	野崎貞行		議 長	新妻常吉		議 長	滝田義勝		議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	蛭田栄太郎		議 長	中里豊須美		議 長	大滝誠志		議 長	三邊寛		議 長	三和村長	田子辰雄	議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	小沢要助		議 長	鈴木栄一		議 長	若松晴司		議 長	赤津庄兵衛		議 長	磯野清治		議 長	沼田一夫		議 長	鈴木栄一	
議 長	田子辰雄		議 長	阿部卓爾		議 長	野崎貞行		議 長	新妻常吉		議 長	滝田義勝		議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	蛭田栄太郎		議 長	中里豊須美		議 長	大滝誠志		議 長	三邊寛		議 長	三和村長	田子辰雄	議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	小沢要助		議 長	鈴木栄一		議 長	若松晴司		議 長	赤津庄兵衛		議 長	磯野清治		議 長	沼田一夫		議 長	鈴木栄一	
議 長	田子辰雄		議 長	阿部卓爾		議 長	野崎貞行		議 長	新妻常吉		議 長	滝田義勝		議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	蛭田栄太郎		議 長	中里豊須美		議 長	大滝誠志		議 長	三邊寛		議 長	三和村長	田子辰雄	議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	小沢要助		議 長	鈴木栄一		議 長	若松晴司		議 長	赤津庄兵衛		議 長	磯野清治		議 長	沼田一夫		議 長	鈴木栄一	
議 長	田子辰雄		議 長	阿部卓爾		議 長	野崎貞行		議 長	新妻常吉		議 長	滝田義勝		議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	蛭田栄太郎		議 長	中里豊須美		議 長	大滝誠志		議 長	三邊寛		議 長	三和村長	田子辰雄	議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	小沢要助		議 長	鈴木栄一		議 長	若松晴司		議 長	赤津庄兵衛		議 長	磯野清治		議 長	沼田一夫		議 長	鈴木栄一	
議 長	田子辰雄		議 長	阿部卓爾		議 長	野崎貞行		議 長	新妻常吉		議 長	滝田義勝		議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	蛭田栄太郎		議 長	中里豊須美		議 長	大滝誠志		議 長	三邊寛		議 長	三和村長	田子辰雄	議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	小沢要助		議 長	鈴木栄一		議 長	若松晴司		議 長	赤津庄兵衛		議 長	磯野清治		議 長	沼田一夫		議 長	鈴木栄一	
議 長	田子辰雄		議 長	阿部卓爾		議 長	野崎貞行		議 長	新妻常吉		議 長	滝田義勝		議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	蛭田栄太郎		議 長	中里豊須美		議 長	大滝誠志		議 長	三邊寛		議 長	三和村長	田子辰雄	議 長	須田一男		議 長	鈴木栄一	
議 長	小沢要助		議 長	鈴木栄一		議 長	若松晴司		議 長	赤津庄兵衛		議 長	磯野清治		議 長	沼田一夫		議 長	鈴木栄一	
議 長	田子辰雄		議 長	阿部卓爾		議 長	野崎貞行		議 長	新										

1964年 暑中お見舞い申し上げます 盛夏

諸橋元三郎 平市五丁目	阿部政右衛門 平市才樋小路	猪狩四郎 平市田町	飯野盛男 平市高月	小野義一 県會議員	野沢武蔵 県會議員	鈴木喜政 平市田町 電二九五九
----------------	------------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------------

1964年

暑 中 お 見 舞 印 し 上 げ ま す

盛夏

平市長 大和田 弥一		平市議会 議長 志賀 季三郎 副議長 坂本 昌蔵 ほか議員一同		平市会議員 坂本 登 平市大越 電五二〇九		平市会議員 遠藤 幸一郎 平市豊岡 電(豊岡)四五		平市会議員 志賀 兼太郎 平市中神谷		平市会議員 石山 一治 平市材木町 電二二五四		平市会議員 松本 都広 平市平窪杉内 電二二一〇	
平市会議員 中野 二郎 平市塩 電二八四九		平市会議員 国井 一美 平市新川町 電二六九六		平市会議員 塩 庄 造 平市鎌田 電四二五八		平市会副議長 坂本 昌蔵 平市二丁目 電(代)六三三		平商工会議所 会頭 山崎 賢助 副会頭 坂本 昌蔵 同 坂井 清之助 専務 草野 四郎		平商工信用組合 商工組合中央金庫代理店 理事長 大谷 要次郎 平市十五丁目 電二〇二四		株式会社 大丸 社長 横山 徳男 本社 平市才植小路 事務所 内郷市御台境 営業所 平、小名浜、四倉、日立、郡山	
弁護士 大 嶺 庫 平市十五丁目 電二六一〇		弁護士 市 井 茂 平市田町 電二七〇六		弁護士 高 橋 嘉 門 平市六間門 電四六五二		弁護士 山 野 辺 政 豪 平市一丁目 電四七六七		株式会社 山木工業 社長 志賀 久太郎 本社 平市正内町四八ノ一 電(代)六七二〇 営業所 平市下高久字八幡八六 (製材工場目宅) 電高久三		常磐化成 株式 社長 駒木 根忠敬 ほか社員一同 平市大町 電三七六〇		一般建材・パネル製函 新建材・外材各種 芹沢 製材所 工場 小川町 電(小川)四 自宅 平市三丁目 電二〇四七	
鈴木齒科医院 院長 鈴木 一男 医員 鈴木 貞雄 同 鈴木 敬子 平市田町並木通り 電四六七四		竹林病院 院長 竹林 貞吉 平市十五丁目 電四一三一		内科 小児科 高 久 医院 平市紺屋町 電二五二三		平地方鉄工業協同組合 理事長 磯崎 竜次 専務 松崎 隆光 主事 小橋 正夫		小 児 科 三 井 医 院 平市田町 電二六一五		平市校長会 石城地区 高等 学校 校長会		石城地区 機関 連絡 協議会	
平 飲 食 業 会 会長 金子 松男 副会長 加藤 武久 同 鈴木 勝博		平市建設業組合 平市童子町 電四二七九 五〇三九		武蔵鉄工所 遠山 勇 平市才植小路 電二五二四		株式会社 小松美術印刷所 代表取締役 小松 紘三郎 平市才植小路 電三七八五		レストラン サ ロ ン 平市銀座 電二五九二		株式会社 常磐ヤンマー製作所 社長 新妻 良平 平市二丁目 電四三三六		合資 菊田板金塗装店 代表 社員 菊田 勝己 平市小太郎町 電二八八七	
鯨川漁業協同組合 組合長 沢田 源次 専務理事 森合 芳男		平地区米穀卸売協同組合 理事長 坂本 為一		甲 陽 館 平市駅前 電三一八二		武蔵鉄工所 遠山 勇 平市才植小路 電二五二四		株式会社 小松美術印刷所 代表取締役 小松 紘三郎 平市才植小路 電三七八五		レストラン サ ロ ン 平市銀座 電二五九二		株式会社 常磐ヤンマー製作所 社長 新妻 良平 平市二丁目 電四三三六	

平市紅小路店 電二七二七
才榎小路店 電三〇二一

賑わった平七夕祭り

平七夕祭りは六、七、八の三日間行なわれた。綺麗に飾られた七夕のもとへ、晴暑もものかわり目押しするほどの見物客でこたえ返した。そのほかを感嘆のいいじやんがら念仏踊りも出演して人目を惹きました。飾りの入賞者は左の如く決った。

【団体の部】▽特賞 二町目商店会、三町目商店会、一町目商店会、四町目商店会、銀座商店会、中央通り商店会、三田小路

【個人の部】▽特賞 大黒屋「アトム」の叶多金物店、鉄人28号「鈴鹿」無題、根本時計店「レンジャー」8号、月世界到着「サカイ食品店」宇治納涼音楽会「つるや」養老の滝「▽佳作」中野洋品店「ツルヤ」

【努力賞】エンタープライズ店、伊賀屋商店、西村薬局、玉屋メカネ店、ふくたや、サンキヨウ、白土陶器店、丸重商会、平郵便局、三興シャープ、国井一美商店、市川パン店、常盤交通、住吉屋、ロンドン、マルシン、真根井商店、ハシモトヤ商店、石川ミシン商会

いしもち釣れだす

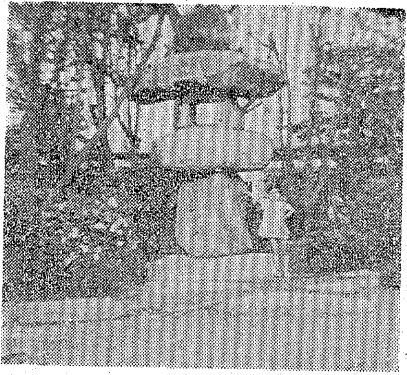
立秋となれば涼しい秋風が訪れるが、しかし残暑はこれからだ。酷暑中は愛幸ととも「一時釣りを休む人」もかなりあるが、それでも清流のアユつりや平市大越、新舞子方面の海「いしもち」釣りはいま盛りである。

木戸川、その川のアユの数はぐっと少なく、つり人の数もプロ級の人々だけで少な、それに降雨がないので水が減量したため好つりに恵まれないが、アユの持つ魅力に夏のなほ小形ながらつりつて

産卵期には九月一杯は続つておるが九月に入れば大物が出るはずで、横川、藤間沼など好つり場は至るところにあるのでこれから期待されよう。

小名浜、江名などの小サバ、小アジもつり始めている。誰れにもつれるので面白い。

報徳会館に大燈籠



自然の石燈籠

豪華華麗な内郷市御殿の報徳会館は開設一周年を迎えて利

計した庭園も最近に至って漸やく八分通り出来上り、地方稀に見る名園となり、訪れる来客の目を惹きつけているが、このほどこの庭に大きな石灯籠もつけられた。この灯籠は平市十五丁目の三井邸から諸橋元三郎、大黒屋社長馬目勝次郎両氏のお世話で譲ってもらったもので、かつては三井邸と云われた彼れ全盛時代に造ったものだけに素晴らしい出来栄の灯籠であり、珍しいので見物に押し掛ける人で賑わっている。

四倉町長は南太平洋へ

廿七日出発
四倉町長鈴木常松氏は南太平洋フィジー島のレバフ市の日

平競輪場の改造が完成

平競輪場は従来設備がわるくA級レースをやるには不向きだったので工費三千万円をかけて改造中だったが、このほど立派に完成したので三万月振りに八月十四日から六日間開催される。これでA級レース主体に開かれることになったワケで、観覧席、自家用、駐車場も完成、ファンから喜ばれている。

川柳龍城から渡辺一角作

郷愁のきこへ今宵もとど響転々とかたい椅子から固い椅子綴万母の虚栄をくみ見ぬき盛り場に族と称するいやがらせ金たまりそれから組にへん面

よい時計・よいメカネ・輝くユビワ

暑中お見舞 申し上げます

平市才地小路路切色川材木店内電話二二六二番

不動産売買仲介貸家斡旋
公認 平宅地建物取引所

木モト
平市・二丁目TEL. 2607

家具のデパート

丸ほん

平市三丁目 電話 5131 (代表) ~ 3

金庫 書庫 レジスター 計算機 事務機

萩金庫商会

平市 三十米通り
TEL 2631・3352

パンと洋菓子

市川パン店

平市中央通り 電話二九三六
三十米通り支店 電話五九一三
工場 旧城跡 電話五九〇六

平競輪

発走 12時半

後節 8月 14・15・16
22・23・24

8月 29 30 31 9月 5 6 7

技術と信用の店
家具のセンター

ナガキ

平市三丁目 TEL 4535

個性美を活かす注文服
着てゆつたり 見てびつたり
すばらしい技術です

大平洋服店

平市駅前 電話 三九七二
最新式しゅう用シンガーミシン新設
大平洋服店ネーム部

印刷は
加納活版

諸会合に お気軽にご利用下さい

デラックスな設備とよい環境

平駅からバス5分 料金十円
内郷市御殿 電話 (平) 5522~5523

報徳会館

猛暑の夏です……

バカンスです……

タクシーは尼子です……

(電代) 二二七五・二六四〇
好問営業所は 五三七二
草野営業所は 五六四七

平市二丁目

尼子タクシー